

同時方程式体系についての空間計量経済学モデル：関東地方の都市アメニティ 評価を事例として*

横井渉央・太田代有紀子・安藤朝夫 (東北大学)

都市・地域の生活の質 (QOLI) を計測するアメニティ評価の経済学的研究は 1980 年代から行われている。しかし、一連の研究において地域間の空間的影響は余り考慮されてこなかった。モータリゼーションの進展や高速交通網の整備とともに地域を越えた通勤や消費活動が一般的となっている。この観点から地域アメニティの計測についての既存研究は不十分である。地域間の空間的影響のモデル化の手法として、空間自己回帰モデルの技術が近年確立されつつある。そこで、本研究では地域の内生変数 (レント・賃金) の同時方程式体系に空間自己回帰モデルによる空間的影響の考慮を組み合わせた計量経済学モデルを定式化し、推定する。データとして関東地方の都市データを用いる。

Keywords: アメニティ, 生活の質, 同時方程式モデル, 賃金, 地域間移動, 空間計量経済学

JEL Classification: C31, Q51, R23